

**平成26年度進行管理・評価シート**  
**恵那市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）**  
（最終変更平成26年3月31日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実現のための体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観形成に関する取組みについて	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 岩村城石垣修理事業	.....	3
2 木村邸整備事業	.....	4
3 岩村城下町まちなみ保存事業	.....	5
4 岩村城登城道整備事業	.....	6
5 祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)	.....	7
6 歴史的町並み修景整備助成事業	.....	8
7 ポケットパーク整備事業	.....	9
8 道路美装事業	.....	10
9 中山道保存修景整備事業	.....	11
10 案内板設置事業(宿場町大井地区)	.....	12
11 ふるさと文化普及継承事業	.....	13
12 歴史まちづくり推進事業	.....	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	.....	15
2 文化財の防災	.....	16
3 文化財の普及・啓発	.....	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 (報道等タイトル名)	.....	18
<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)</b>	.....	19

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	平成26年度
計画実現のための体制		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 歴史まちづくり事業は、歴史、文化、観光、建設、都市整備等の多岐の分野に関連するため、本市では「歴史まちづくり連絡調整会議」を設置し、関係課(事業担当部課)間の横断的な連絡調整を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

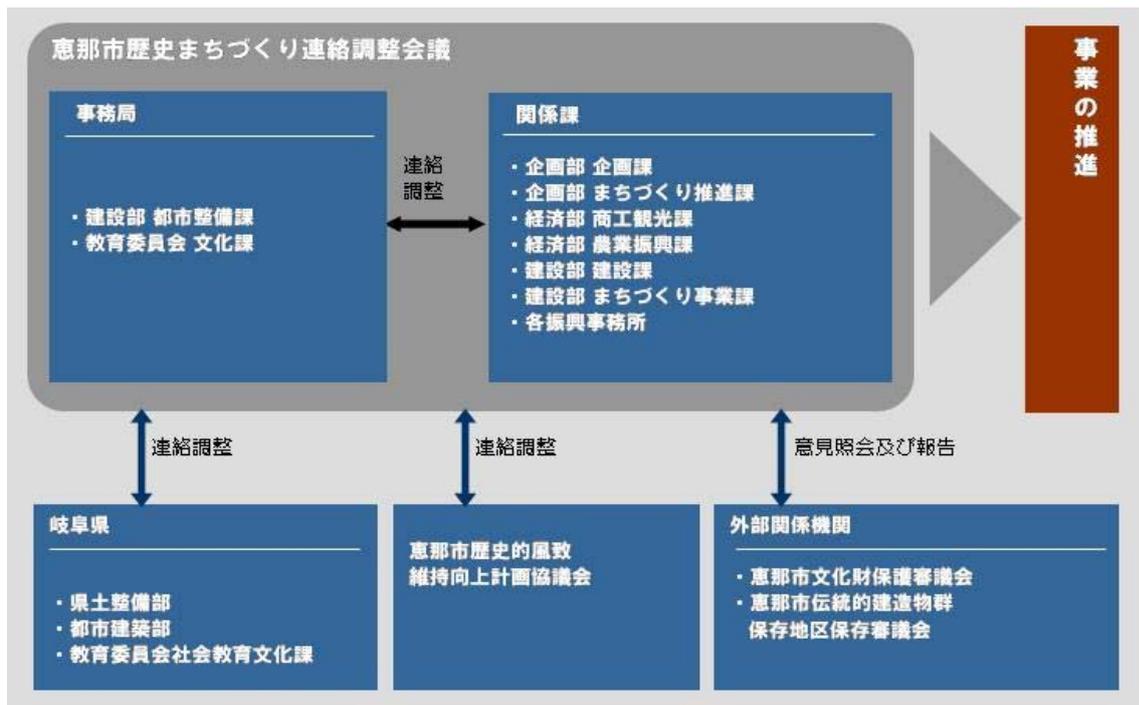
建設政策課・文化スポーツ課等関係課から構成される「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間との連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。  
 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会については、平成27年3月2日に実施し事業の評価を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



■恵那市歴史的風致維持向上計画協議会  
 平成27年3月2日開催  
 審議事項  
 平成26年度 進捗評価について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成26年度
景観形成に関する取組みについて		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 景観法に基づく景観計画の策定に向けて、平成20年度より庁内関係部課、学識経験者及び地域住民等で構成する景観計画策定委員会にて恵那市全域の方針や規制の検討を行うとともに、平成21年度からは、地域住民等で構成する地域ワークショップの開催等を通じて地域毎の景観の形成に関する基本方針や行為の制限について併せて検討を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

恵那市景観条例、恵那市景観条例施行規則の施行(平成24年4月1日施行)。内、行為の届出に関するこの規定は、平成24年10月1日から施行した。  
 平成26年度の行為の届出件数は、事前協議件数34件、届出件数29件(平成27年2月25日現在)があった。  
 平成26年度は景観審議会にて、景観重要建造物・景観重要樹木、屋外広告物条例の制定について審議を行った。  
 ・恵那市景観審議会 平成26年5月19日、平成27年3月16日開催  
 ・恵那市景観審議会屋外広告物部会 平成26年7月8日、平成26年10月21日、平成27年2月25日開催

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■景観審議会  
 平成26年度  
 平成26年5月19日、平成27年3月16日 開催  
 審議事項  
 景観重要建造物・景観重要樹木について  
 屋外広告物条例について



■景観審議会屋外広告物部会  
 平成26年度  
 平成26年7月8日、平成26年10月21日、  
 平成27年2月25日 開催  
 審議事項  
 恵那市屋外広告物に関する制度について



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
岩村城石垣修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成31年度		
支援事業名	主要観光資源誘客強化事業 市単独事業		
計画に記載している内容	標高717mの急峻な山の頂に築造された近世山城の代表・岩村城を支えてきた石垣である。これまで修理が行われてきたが、木根や流水等によって石が浮いたり、孕んだりしている箇所も見られ、一部、崩壊の危険性の高い箇所も見られる。 本石垣は、本丸等が無くなった現在においても、城下町の形成と発展を牽引してきた岩村城の基礎として、地域の歴史を物語る大きな拠り所となっている。当事業により石垣の修理を行うことで、地域の歴史的風致の維持を図ることができる。 事業概要：発掘調査の後、崩壊の危険性の高い石垣の修理(対象面積:約300㎡)。石垣支障木の伐採。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度は、岐阜県の主要観光資源誘客強化事業を活用し、本丸と八幡曲輪一帯、出丸南側の石垣支障木・危険木の伐採・枝打ちを平成27年1月～3月に予定している。なお、地域のボランティアによる草刈り・清掃作業は予定通り行われ、その際に石垣に生えた雑草等の除去は実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○ 平成26年度実施箇所



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
木村邸整備事業		現在の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成26年度

支援事業名 文化財建造物等活用地域活性化事業  
国宝・重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容  
 本住宅は、地域の歴史文化を物語り、重要伝統的建造物群保存地区内でも最も市民や観光客の関心を引く建物であり、歴史的風致を形成する重要な資源の一つとなっている。当事業により建築物を修理することで、地域の歴史的風致の維持を図ることができる。また、本住宅は、現在一般公開を行っているが、今後は企画展等を行い、地域の歴史文化を紹介していくことで、歴史的風致を担う市民への意識向上を図っていくものとする。  
 事業概要: 敷地面積826㎡ 床面積718㎡ 木造3階建 土蔵及び離れの修理、改修、増築部分撤去、火災報知機設置。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

外構の整備工事を実施した。  
 庭園西側のコンクリートブロックを撤去して木塀を整備した。主庭と坪庭の雨水排水と植栽、石造物、井戸屋形を整備し直した。  
 主屋、離れ、土蔵に自動火災報知機を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

改修前



改修後



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
岩村城下町まちなみ保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成31年度		
支援事業名	国宝・重要文化財等保存整備費補助金 市単独事業		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物に対し、修理修景に助成を行うことにより、後継者不足や修理費用の負担、また火災等の災害による歴史的建造物の滅失・荒廃といった課題を解決し、歴史的建造物を保護することで、歴史的風致の維持向上を図る。 事業概要：重要伝統的建造物群保存地区内の家屋の保存修理、防災事業等。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統的建造物4件の修理に助成を行った。 主な家屋修理内容(主屋や土蔵の屋根、外壁替えなど)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

改修前



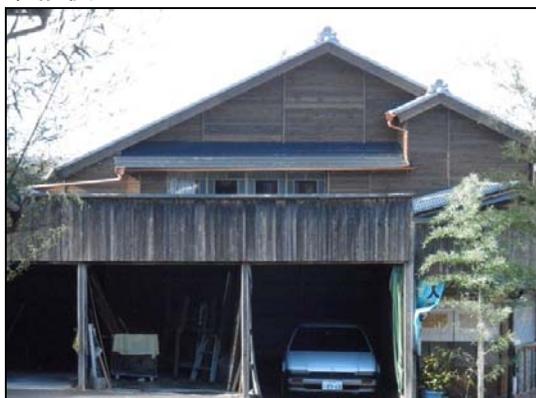
改修後



改修前



改修後



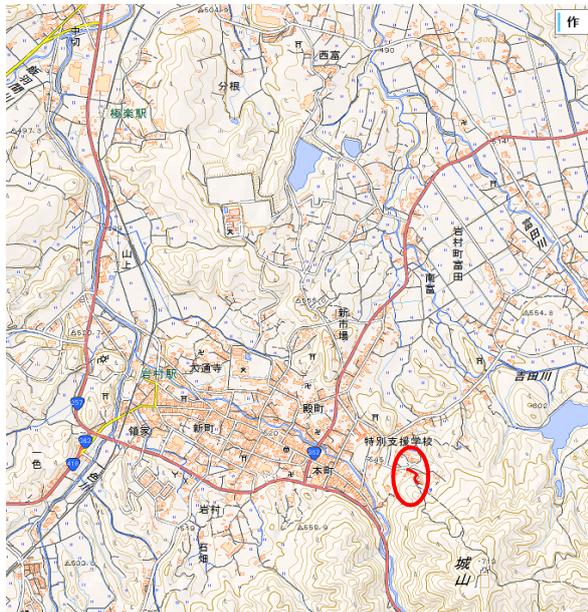
評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度 現在の状況
岩村城登城道整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～平成31年度		
支援事業名	主要観光資源誘客強化事業 市単独事業		
計画に記載している内容	・岩村城への登城道及び付近の修景整備 ・案内標識の設置 ・ベンチの設置等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度は、岐阜県の主要観光資源誘客強化事業を活用し、岩村藩主邸跡前から岩村城址公園までの登城路116.3mの修景工事(側溝工、舗装版破碎工、舗装工(脱色カラー)、樹脂舗装工)を施行した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

施工箇所



施工前



施工後



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 毎年10月第1週の土曜日から日曜日にかけて行なわれる「岩村町秋祭行事」は、岩村城を築いた加藤景廉の子である景朝のご神体を神輿に乗せ、時代衣装を身にまとった総人員約300人が長さ300mに及ぶ行列を整え武並神社を出発し、岩村町本通り(重要伝統的建造物群保存地区)約1.7kmを練り歩き、景廉が祀られている八幡神社に運ぶ。翌日、神輿は再び行列によって武並神社に帰る。行列の役割・内容などは、嘉永5年の「武並宮御祭礼規定」にある次第から変化しておらず、行列中の御神馬に使用する飾馬具類は、天保の頃のものを使用されていることから傷みが目立っている。祭りに使う衣装類の計画的な整備を行うなど、地域で長年受け継がれている伝統行事を支援することで、歴史的風致の維持向上と地域住民の景観形成や歴史文化に対する意識の向上を図る。  
 事業概要: 岩村町秋祭行事の祭礼衣装等の整備。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祭具・衣装の修理については、祭具修理・交換と不足分の補充、衣装修理・交換と不足分補充を行った。また岩村町秋祭行事の行事運営について助成を行った。  
 秋祭行事で演じられる岩村町獅子舞の保存活動を行う保存会に対して伝承活動助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

岩村町秋祭り行事の「神輿渡御行列(みこしとぎょぎょうれつ)」  
 約380年続く伝統的な行列が練り歩く



秋祭り 神輿渡御行列



打ち囃子



地区内の辻々で行う郷土芸能 岩村町獅子舞

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

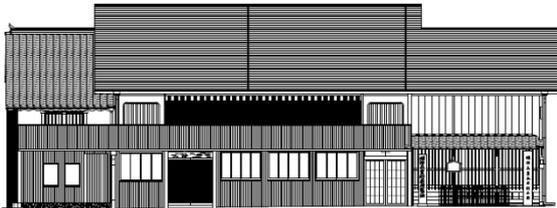
		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
歴史的町並み修景整備助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業		
計画に記載している内容	中山道の宿場町としての面影を残す大井宿周辺の建造物等について、所有者等が行う修復・修景事業の一部を助成し、町並み景観の向上を図り、連続性を向上させ歴史的風致の維持及び向上に寄与する。 事業概要:宿場町大井地区内の大井宿周辺の建造物等について、平成24年度に建造物の悉皆調査とガイドラインの作成を行う。平成25年度から、ガイドラインに沿って、建造物等の修復・修景事業に対して助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
財団法人が所有する行在所について、市が寄附により取得することとなったため、この建物の修景について庁内で検討した。 ガイドラインの作成、修復・修景事業の助成に対する要項については、引き続き作成していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ガイドラインの作成に関して、住民との合意形成を図りながら慎重に進めていく。		

状況を示す写真や資料等

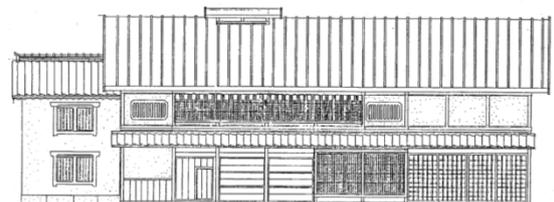
行在所



現在の外観



小寺武久名古屋工業大学教授外観復元案  
(平成2年3月)



平成26年7月14日 庁内での検討会議



平成27年1月30日 庁内での検討会議



評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
ポケットパーク整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)  
市単独事業

計画に記載している内容  
宿場町大井地区内の中山道沿道の空き地となっている土地の中から土地を取得し、ポケットパークとして整備する。このことにより、町並みの連続性を生み出すとともに、トイレやベンチ、案内板を設置することにより、来訪者や地域住民の利便性の向上を図り、歴史的風致の維持及び向上を図り、歴史的風致の維持及び向上を図る。  
事業概要：宿場町大井地区内の中山道沿道の空き地となっている土地の中から土地を取得し、来訪者や住民にわかりやすい総合案内板と利便性を向上させるためベンチやトイレを設置したポケットパークを整備する。また町並みの景観に配慮した植栽などについて検討を行う。

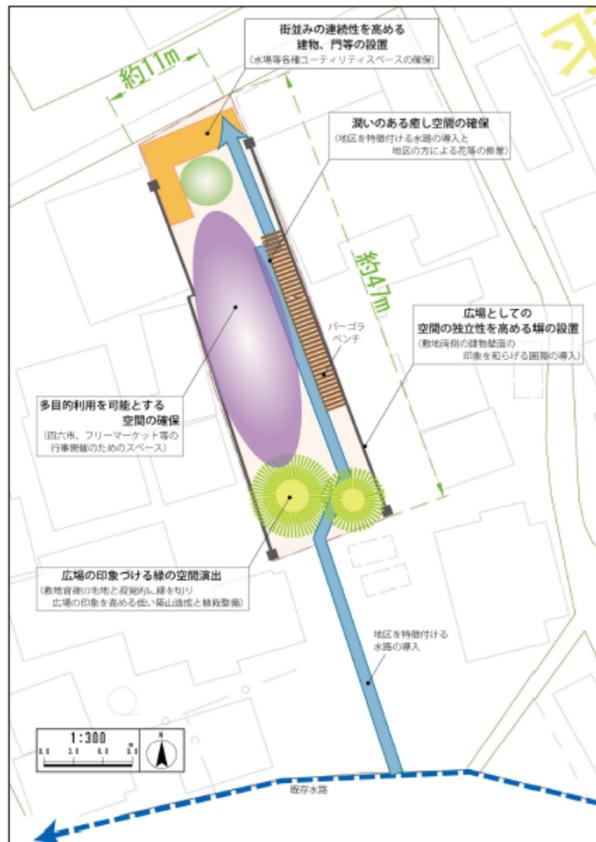
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備に向けた基本構想を作成した。  
基本構想に基づいた有効的な活用を検討するため、庁内で検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

ポケットパーク平面図(基本構想)



ポケットパーク整備イメージ



現状



【整備メニュー案】

- ・イベント(市場、マーケット等)が可能な広いオープンスペース
- ・地区に特徴的な水路
- ・まち並みの連続性を高める建物・門等
- ・敷地地形に合った東屋(休憩場所)
- ・樹木・草花(みんなで管理する花壇等)
- ・照明(夜間の活動、安全対策、イベント時の電源利用)
- ・駐輪可能なスペース(子供たちの利用を想定)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
道路美装事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)  
市単独事業

計画に記載している内容  
宿場町大井地区内の中山道は、石畳による道路整備や道路美装が行われているが、経年劣化に伴い大変傷みが進んでいるため、建造物の修景と併せて道路美装を行う。このことにより、歴史的町並みの景観の向上を図り、歴史的風致の維持向上を図る。  
事業概要：昭和62年に大井宿内中山道についての石畳化事業が行われた。中山道を石畳化することにより大井宿の特徴である枡形の遺構を明確化するものであったが、枡形全てが石畳化されておらず、中山道がどこであるのか非常に分かりにくい状況である。また石畳についても老朽化しておりアスファルトの埋め込みで補修している箇所がたくさんある状況である。  
中山道を明確化するとともに、来訪者や住民が安全に散策できるようにするため、道路美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

舗装の種類、歩車道の分離等、まち並みに配慮した整備を実施するため基本方針を検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

現状



整備イメージ案①(ロードアスファルト舗装)



庁内関係課による調整会議



整備イメージ案②(半たわみ性舗装)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
中山道保存修景整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 中山道は、江戸時代の五街道の一つであり、大湫(瑞浪市)以東、藤村・竹折村・久須見村四ツ谷・中野村を経て、美濃十六宿の一つ大井宿に至り、ここより茄子川・千旦林を通り中津川宿を抜ける。この行程中、中野・大井あたりは平坦地で、通行する幕府や諸藩の諸荷物や参勤交代行列、一般の人馬の宿泊・休憩所として賑わった。現在も中山道は来訪者が多く訪れ非常に親しまれている街道であるとともに、七日市や渡御行列が行われる重要な場所でもある。この中山道を良好に保存し環境整備をすることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。  
 事業概要: 中山道沿線の草刈り、便利施設の維持管理に対する助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地区内の中山道及び沿線の便利施設(碓平坂公園、西行苑、深萱休憩所、四ツ谷集会所)の維持管理を行っている沿線4地区の保存会の維持管理や活動に対する助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【中山道岡瀬沢保存会】 毎月2回×12ヶ月 4班(1班4～5人)が交代で碓平坂公園及びトイレの清掃、秋に全会員による一斉清掃  
 春と秋のウォーキングイベント時のPRとおもてなし活動、年1回の地元と保存会員の合同視察研修等  
 【武並地区中山道保存会】 保存部会による地区内中山道の清掃活動(1回、30人)、ウォーキングイベントにおけるガイド、おもてなし活動(1回、23人)、先進地(宿場)視察(1回、40人)、学校及び生涯学習活動時のかたりべ活動とかたりべ内容の確認(3回)等  
 【中山道西行保存会】 史跡伝西行塚の祭典の実施、西行苑便所及び周辺の清掃(毎月1回、のべ34人)  
 【中山道四ツ谷地区保存会】 毎週1回の四ツ谷集会所トイレ(一般開放)の清掃管理、年4回の中山道沿線の草刈り清掃、ウォーキングイベント時のおもてなし及び会場提供

中山道における草刈りの様子(中山道四ツ谷地区保存会)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
案内板設置事業(宿場町大井地区)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)  
市単独事業

計画に記載している内容  
文化財や歴史的建造物等を紹介し、物語性を加えて誘導案内することで、点在する文化財等を有機的に繋げ、来訪者の回遊性を高めて、地区の歴史的風致の情報発信を効果的に行うなど、歴史的風致を生かしたまちづくりを進めることが可能となる。  
またこうした取組みを行うことで、地域住民の歴史文化に対する意識の高揚を図り、歴史的風致の維持向上を図る。  
事業概要:設置時期等により、様々なデザインとなっている案内看板について、歴史的な町並みへの景観に配慮し、統一的なデザインで新設・改修する。  
設置にあたっては、来訪者や市民の回遊性を向上させるために、設置位置についても配慮する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現在地の表示、ピクトグラムや触地図、多言語標記、QRコードの採用等、国内外からの来訪者に分かりやすく、既設看板と統一された看板整備となるよう検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

現在の案内看板



案内看板整備イメージ



統一看板の例  
(中山道PR事業/岐阜県)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
ふるさと文化普及継承事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～平成31年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	宿場町大井地区を中心として、文化財等の文化遺産について、広く市民、来訪者に啓発することにより、歴史文化に対する意識の向上を図る。また、祭礼行事や歴史文化に関する伝承や後継者を育成することにより後世に渡って良好な歴史的風致を維持することができる。 事業概要:文化財等の保存・活用に関わっている団体やまちづくり協議会等の地域組織と連携をとりながら、文化財等の普及啓発活動を行う。また、地域住民や学校などに働きかけイベントや講習会の実施、歴史遺産の調査を行うことで歴史文化に関心をもっていただくとともに、後継者の育成に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 中山道かたりべ講座では、市内及び隣接地域の中山道の見学や関連イベントに参加した。また、大井宿内の中山道ひし屋資料館で筑前琵琶と雅楽の演奏会、大井栄舞体験を実施し、伝統芸能に触れる機会を提供した。 地区内の小学校では、年間を通じて総合学習で地域の伝統芸能(大井文楽)や日本の伝統文化(茶道、琴、太鼓)の体験学習が行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【中山道かたりべ講座】定員15人

- ①6/29 大井宿をじっくり歩く ②7/19 深萱立場から西行硯水公園を歩く
- ③8/9 中山道トーク(於:明治天皇大井行在所) ④9/26 大井宿から中津川宿を歩く
- ⑤11/15 和スイーツ食べ比べ、のれんコンテスト見学
- 【筑前琵琶演奏会(ゲスト:東濃雅楽会)】 10/14 中山道ひし屋資料館、参加者100人
- 【大井栄舞を体験】 10/18 中山道ひし屋資料館、参加者50人
- 【大井小学校6年生総合学習「日本の伝統文化を学ぶ」】 児童47人
- 6/11、6/25、7/9、7/16、10/15、11/5、11/26、12/17、1/21、2/18、2/25

中山道かたりべ講座①



大井栄舞体験



中山道かたりべ講座②



小学校における日本の伝統芸能の体験学習



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
歴史まちづくり推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 地域住民と行政が協力して歴史的な町並みやまちの活性化に繋がる事業を立案、実施することにより、歴史的風致を幅広く、総合的に維持向上していくことができ、またこうした取組みを行うことで、地域住民の歴史文化に対する意識の高揚を図ることができる。  
 事業概要: 宿場町大井地区を中心に、地域住民からの歴史的風致維持向上のための町並み形成、また地域の活性化に繋がる提案事業について支援を行う。また、必要な調査についても出来るだけ地域住民も参加して行うなど計画段階から地域住民とともに立案していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

明治天皇大井行在所の運営について、運営委員会において検討した。  
 また、行在所を中心とした大井宿の歴史、文化を活用したまちづくり、観光について議論するため、関係団体による検討準備委員会を設立した。  
 所有者の協力を得て、大井宿場内の歴史的建造物である古屋家の調査を実施することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

行在所



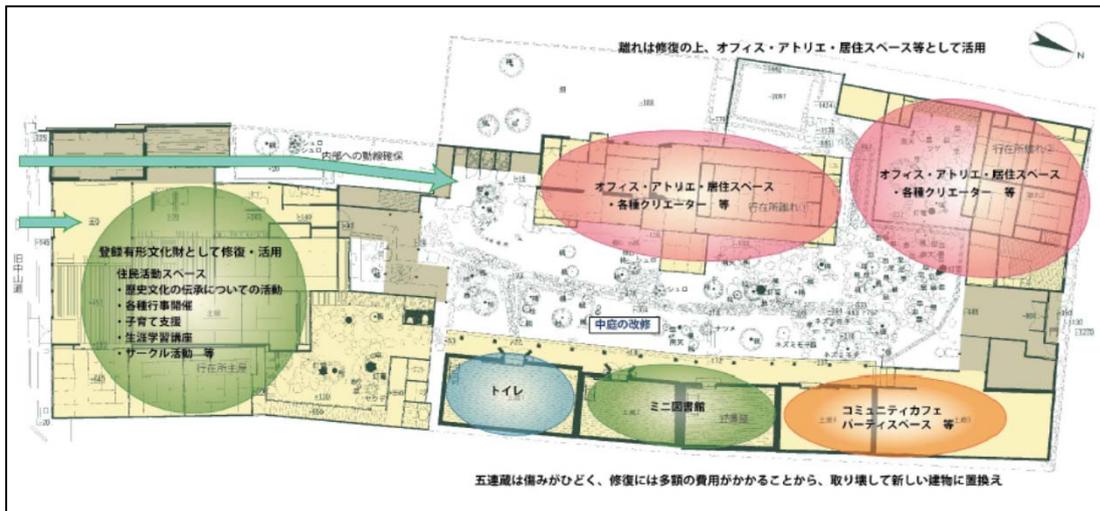
行在所活用検討準備委員会の様子



調査を実施した古屋家



行在所の活用イメージ



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	

文化財の修理(整備を含む)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

計画に記載している内容  
 文化財の修理や整備にあたっては、文化財の種類に応じ、関係法令を遵守し、適正な手続きによる対応をすることとする。また、修理にあたっては史料に基づいた修理を基本とし、周辺の文化財等の整備状況と整合させながら整備を行うものとする。  
 一般的な方針は「①恵那市全体に関する事項」とおりであるが、城下町岩村地区においては、「重要伝統的建造物群保存地区」、「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」、「木村邸」、「岩村城跡」、「岩村町秋祭行事」について、順次事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝建地区内の町屋の保存修理、木村邸の保存修理を行った。  
 平成26年度から平成28年度までの3年間で施行する市指定文化財浄光寺の保存修理工事を開始した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

浄光寺修理前



浄光寺修理中



浄光寺内部工事



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財を火災や盗難から守るためには、文化財及びその周辺の状況を事前に把握しておく必要があるため、消防本部、警察署等と市内の文化財について建造物を中心に所在場所の情報を共有し連携を強化するとともに、査察を行ったり啓発ポスターを配布したりすることにより予防に努め、主要な建造物の消火訓練や連絡体制の確認を行い文化財の防火防災に対する意識の高揚を図る。 盗難、毀損等の人的な災害に備えるため、担当課署は歴史的建造物のパトロールを随時行う。 また、消防設備の整備にあたっては、周辺の景観に調和したものとし、今後修理が行われる「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」や「木村邸」については、火災報知機等の設備の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1月22日、文化防火デーにちなみ、岩村歴史資料館、中山道ひし屋資料館で、防火設備の取り扱い説明及び防火訓練を行った。同24日には、岩村の重要伝統的建造物群保存地区内において、子ども夜回りを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
1月24日 子ども夜回り		1月22日 岩村歴史資料館館防火訓練	
			
1月22日 ひし屋資料館防火訓練			
			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を作り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努める。 市内の小中学校の児童・生徒に、地域の祭礼等伝統行事を郷土学習として学ぶよう学校を通じて依頼することにより担い手をつくり、伝統的な祭りを維持していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を創り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     平成26年度に行った主な行事                      岩村城清掃活動                      8月23日第30回岩村城址薪能                      10月25日第18回言志祭～佐藤一斎祭り                      岩村型紙教室、WS                      3月～4月ひし屋資料館ひな祭り展示                      10月18日大井栄舞体験(ひし屋資料館)                 </div>			
岩村城清掃活動		ひし屋資料館ひな祭り展示	
			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成26年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
日本観光ポスターコンクール 恵那市が国土交通大臣賞	H26.4.3	中日新聞ほか	
鉄砲鍛冶、今に伝える	H26.4.2	岐阜新聞	
東野歌舞伎児童ら披露	H26.10.28	中日新聞ほか	
地元・大井文楽 稽古大詰め	H26.10.29	中日新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上施設の整備に取り組んでいる城下町岩村地区をテーマにして、(公社)日本観光振興協会主催の日本観光振興ポスターコンクールに出品し、最高賞である国土交通大臣賞を受賞した。新聞にも取り上げられ、城下町岩村地区を広く知ってもらうことができた。

歴史的風致を維持する伝統文化の担い手の育成として小中学生に積極的に参加してもらう地歌舞伎や文楽の活動が新聞に取り上げられ、広く知ってもらうことができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成27年3月2日	
<p>これまで個々の施設に関する取組等、点の整備が行われてきた。今後は、中山道という線概念がきっかけとなり、歴史的・文化的資源を線で繋ぐ・エリアで繋ぐ取組が必要。</p> <p>今後の整備内容に中山道という切り口が増えた。広域的な統一的な整備・一目で中山道と観光客が分かる工夫が必要。</p> <p>伝統芸能、伝統文化を次の世代に伝える(担い手育成)ため、これらに多くの人を巻き込みながら体感させる、経験させる取組が必要。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>城下町岩村地区内、宿場町大井地区内における歴史的・文化的資源の関連性を持たせたネットワークを構築しながら事業を推進する。</p> <p>道路美装事業及び案内板整備事業(宿場町大井地区)は、重点区域内における仕様の統一に加え、市内、自治体間を横断する中山道の連続性を考慮しながら事業を推進する。</p> <p>伝統芸能、伝統文化を担っている団体に、正しい形で歴史と文化を継承できる範囲において広く参加者を募るよう促す。</p>	